

令和3年度

くまもと売れる米づくり 推進計画書



第9回未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト 入選「合鴨の楽園」

くまもと売れる米づくり推進本部

目 次

はじめに	1
1. 基本方針	2
2. 生産対策	2
(1) 需要に応じた計画生産による米づくり	2
(2) 地域特性を活かした特色ある米づくり	2
(3) 県産 J A 米の信頼の確保	2
(4) 栽培技術向上対策	3
3. 集荷対策	3
(1) 計画生産による出荷契約の推進と履行	3
(2) 系統集荷向上対策の実施	3
(3) 集出荷施設における品質事故防止対策等の強化	4
(4) 仕分け集荷対策	4
4. 販売促進対策	4
(1) 「くまさんの輝き」の認知度向上	4
(2) 大消費地での販売強化	4
(3) メディアや SNS、公共交通機関等を活用した 県産 J A 米の認知度向上	4
(4) 販促キャンペーンやイベント等による 県産 J A 米の認知度向上と販売促進	4
(5) くまモン・お米やんを活用した販促グッズの作成・活用	4
(6) 輸出促進に向けた関係部署との連携	4
5. 食育・消費拡大対策	4
〈参考資料〉	
主力品種生産・販売計画	6
熊本県産米価格の推移	7
水稻主要品種作付地域区分	8
令和 2 年産水稻地域別・品種別作付面積（確定値）	9
水稻うるち玄米熊本県内銘柄別等級比率	10
令和 2 年産水稻の収穫量（熊本）	11
令和 2 年産水稻の都道府県別作況指数	13
令和 2 年産水稻の市町村別作付面積・収穫量（熊本）	14
令和 2 年産水稻全国都道府県別順位	15
水稻累計統計（熊本）	16

はじめに

全国の令和2年産水稻の作付面積（子実用）は146万2,000haで、前年産に比べ7,000ha減少、うち主食用作付面積は136万6,000haで、前年産に比べ1万3,000ha減少した。

作柄（作況指数）は北海道で「良（106）」、東北・北陸・沖縄で「やや良（104）」、関東で「平年並み（101）」、東海・近畿・四国で「やや不良（95・96・96）」、中国・九州で「不良（92・85）」となり、全国では「平年並み（99）」となった。

これは、北海道、東北及び北陸においては、全もみ数が確保され、登熟も順調に推移したことから、作柄が平年を上回った一方、東海以西においては、トビイロウンカの被害、登熟期の日照不足等により登熟が不良となったこと、さらに九州地方では台風の影響もあり作柄が平年を下回ったためである。

全国の10a当たりの予想収量は531kgと前年産より3kg増加し、収穫量（子実用）は776万3,000t（前年比+1,000t）となり、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は722万6,000tで、前年産に比べ3万5,000t減少した。

熊本県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は3万3,300ha、主食用作付面積は3万2,300haで、前年産並みとなった。

水稻の作柄（作況指数）は8月が平年に比べ多照に経過し、全もみ数はやや多くなったものの、令和2年7月豪雨による冠水・土砂流入被害が発生したほか、日照不足による登熟不良や台風9号及び10号の影響による倒伏・もみずれ等の発生、トビイロウンカの被害拡大等により「不良（89）」となった。

主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、15万1,800tで、前年産に比べ4,200t減少した。

また、少子高齢化や食生活の多様化に加え、新型コロナウイルスの影響による生活様式の変化、外食向け需要の減少やネット通販・宅配業態の拡大など大きく市場環境が変化している。

インバウンド需要の回復には時間がかかることも想定され、国民一人あたりの米消費量の拡大促進と併せて、市場のニーズ・トレンドに則した販売戦略の策定や東日本を中心とした米価の下落に対応した産地間競争への対応が必要となっている。

1. 基本方針

- (1) 県産 J A 米の信頼確保と地域特性を活かした良食味米づくり等の「生産対策」に取り組む
- (2) 実需者への安定供給による有利販売のため「集荷対策」に取り組む
- (3) 県産 J A 米の認知度向上と販売促進に向けた「販売促進対策」に取り組む
- (4) 日本型食生活の普及拡大に向けた「消費拡大対策」に取り組む

2. 生産対策

消費者・実需者から選ばれる米産地となるため、関係機関協力のもと県産 J A 米の信頼確保に取り組み「くまさんの輝き」を熊本県のリーディング品種として位置づけ、「熊本県推奨うまい米基準」に基づく生産や地域特性を活かした特色ある米づくりを推進するとともに、多収性品種による業務需要への対応等、需要に基づく生産体制の構築に取り組む。

(1) 需要に応じた計画生産による米づくり

① 需要に応じた生産推進

卸や実需者のニーズに応える米を安定的に供給し、県産 J A 米の有利販売につなげるため、需要に応じた主食用米の生産を推進する。

② 実需者ニーズに基づいた生産体制の確立

農家・J A と取引先・販売店との意見交換等により、実需者ニーズを把握し、ニーズに基づいた生産体制を構築する。

(2) 地域特性を活かした特色ある米づくり

① 「くまさんの輝き」を中心とした良食味ブランド米づくり

「熊本県推奨うまい米基準」に基づく、良食味米生産を強化する。

② 高付加価値米づくり

地域特性を活かした特別栽培米、酒造好適米、グリーン農業等を推進する。

③ 多収性品種の普及

多収性品種の安定多収生産技術の確立と省力・低コスト技術の導入や団地化等の効率的な生産を推進する。

(3) 県産 J A 米の信頼の確保

① 栽培基準に基づく J A 米の推進

② 残留農薬検査・DNA鑑定等の実施

③ 生産者毎のサンプル保管と検査結果等の開示

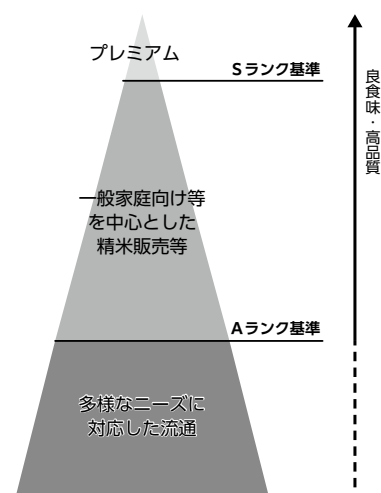
④ 適正な検査格付けの推進と J A 農産物検査員の確保

(4) 栽培技術向上対策

- ① 栽培技術向上に向けた講習会の開催
- ② 現地検討会の開催
- ③ 優良産地研修の実施

熊本県推奨うまい米基準

		Sランク	Aランク
生産基準 (栽培方法)	特別栽培米	必須	任意
	種子更新	必須	必須
	地域の耕種基準を順守	必須	必須
品質基準 (玄米)	たんぱく質含有率 (水分15%換算)	6.5%以下	7.0%以下
	検査等級 (農産物検査)	1等	2等以上
	篩目(ふるいめ)の 大きさ(調整方法)	1.85mm以上	1.8mm以上
	水分	14.0～15.0%	14.0～15.0%
品質基準 (精米)	色彩選別	必須	任意



注) 熊本県奨励品種・認定品種を対象とする

3. 集荷対策

J Aグループが一丸となり、需要や契約に基づいた集荷に取り組むとともに、共乾施設での品質事故防止対策を強化する。

(1) 計画生産による出荷契約の推進と履行

- ① 出荷契約
米の価格安定のため、出荷契約の積上げと契約に基づく集荷を推進する。
- ② 複数年契約
実需者の要望に基づく複数年契約を推進する。

(2) 系統集荷向上対策の実施

- ① くまもと売れる米づくり推進大会の実施
- ② 集荷体制の整備
集荷目標の必達に向けて、J A集荷推進本部、J Aグループ熊本集荷対策プロジェクトチームの活動を強化する。
- ③ J A出荷米の明確化
J Aが取扱う米穀と、J A以外の米穀との区別を明確にするため、「J A出荷米専用袋」並びに「J A米刻印」の管理を徹底し、J Aが取扱う米の差別化を図る。

④ 多様な集荷手法の展開

出荷契約による共同計算の委託集荷や多様化する担い手・法人への集荷対策等に取り組む。

(3) 集出荷施設における品質事故防止対策等の強化

① 農業倉庫での適正な保管管理の徹底

② 農業倉庫や共乾施設での事故防止対策と自主的衛生管理への取組強化

③ C E 運営管理・環境整備コンクール開催を通じた施設運営体制の強化

(4) 仕分け集荷対策

県産 J A 米のブランド力向上のために、「熊本県推奨うまい米基準」に基づいた仕分け集荷を推進する。

4. 販売促進対策

熊本県のリーディング品種である「くまさんの輝き」や統一米袋の広告宣伝活動を強化し、県産 J A 米のブランド力向上に努める。

また、イベント・試食販売会の開催やマスメディア・SNS による PR、販促資材等を活用した宣伝活動等により、県産 J A 米の認知度向上と市場動向や需給環境に対応した販売促進に取り組む。

(1) 「くまさんの輝き」の認知度向上

① 「くまさんの輝き」のイベントや広報活動の実施

② 試食販売会やメディアを活用した認知度向上

③ 産地や実需者より要望の強いテレビ CM の年間放送による認知度向上。

(2) 大消費地での販売強化

① 大消費地（首都圏や関西地区等）での県産 J A 米の広告宣伝活動の実施

② 産地と消費地との交流会の実施

(3) メディアや SNS、公共交通機関等を活用した県産 J A 米の認知度向上

① テレビ・ラジオ・新聞・インターネット・雑誌等による情報発信

② ホームページ・SNS による情報発信

③ ラッピングバスによる情報発信

(4) 販促キャンペーンやイベント等による県産 J A 米の認知度向上と販売促進

(5) くまモン・お米やんを活用した販促グッズの作成・活用

(6) 輸出促進に向けた関係部署との連携

5. 食育・消費拡大対策

農業に対する理解促進と日本型食生活の普及拡大のため、幼稚園から中学生

を対象とした食農教育と主食である米の消費拡大につながる活動を強化する。

- (1) 地域本部におけるアグリキッズスクール・稲作体験の支援
- (2) 地場農産物を取り入れた米飯学校給食運動や地産地消の取組強化
- (3) ご飯食「お弁当の日」の実践と普及・推進
- (4) くまもと農業フェアへの参画
- (5) 小・中学生を対象とした「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの開催支援
- (6) 農業の多面的機能等をPRするTVの制作・放映への協賛
- (7) マスメディアの有効活用
- (8) 食育活動の推進

〈参考資料〉
主力品種生産・販売計画

品 種	生 産 ・ 販 売 計 画
くまさんの輝き	開発に15年の歳月をかけ、平成30年に本格デビューした期待の品種。 28年産米、29年産米食味ランキングでは参考品種ながら2年連続（県北）特Aを獲得しており、おいしさ・作りやすさ・高い品質により、熊本県産米を牽引するリーディング品種として取扱いが年々拡大している。 また、県民に愛されるお米を目指し、消費者や生産者への認知度向上やイメージアップに取り組む。
コシヒカリ	全国的なブランド品種で、産地の特性を活かした特別栽培米及びグリーン農業による生産・販売に取り組む。 早期米：天草地区を中心に特別栽培米に取り組み、県産米の先陣を切った早期販売に取り組む。 普通期米：阿蘇地区を中心に特別栽培米に取り組み、収量性の向上と良食味米向上対策に取り組む。
ヒノヒカリ	西日本で広く生産されており、品質・食味が安定していることから、業務用・家庭用として幅広い需要がある。 11年連続（県北）「特A」を獲得するなど、県産ヒノヒカリは高い評価を得ている。 J Aグループ統一精米袋商品「三度のときめき」を中心に、「熊本県推奨うまい米基準」に応じたSランク米「プレミアム三度のときめき」の取組みを展開する。
森のくまさん	熊本県独自の良食味品種であり、食味ランキング（24年産米）において最高得点で特A（県北）を獲得した実績がある。品質・食味向上対策に取り組む、特A獲得を目指している。近年は県外においても一定の認知度を得ている。 J Aグループ統一精米袋商品「森のくまさん」、「熊本県推奨うまい米基準」に応じたSランク米「プレミアム森のくまさん」の取組みを展開する。
くまさんの力	熊本県独自の良食味・耐暑性品種であり、令和2年産食味ランキングで特A（県南）を獲得している。 熊本市を中心に栽培がされており、学校給食にも採用されている。 J Aグループ統一精米袋商品「熊水そだち（ゆうすいそだち）」として取組みを展開し、販売拡大に取り組む。
酒造好適米	県オリジナル品種「華錦」を中心に契約栽培に取り組み、県内需要者とのつながりを強化し計画的な販売を進める。
もち米	ヒヨクモチを中心に、もち米団地栽培に取り組み品質向上に努め、播種前契約栽培や複数年契約栽培による安定販売を進める。

熊本県産米価格の推移

(単位：円)

	コシヒカリ	ヒノヒカリ	森のくまさん	作況指数
平成 5 年	22,843	21,983	－	77
平成 6 年	21,514	20,725	－	115
平成 7 年	20,284	19,343	－	106
平成 8 年	19,552	18,571	－	104
平成 9 年	17,470	16,664	－	100
平成10年	18,858	17,367	－	104
平成11年	17,347	16,411	16,347	81
平成12年	16,215	15,331	15,341	102
平成13年	16,323	15,300	15,305	103
平成14年	16,407	14,678	14,680	103
平成15年	22,056	18,799	18,708	96
平成16年	16,334	－	15,007	77
平成17年	15,695	14,439	14,403	93
平成18年	15,709	15,006	15,024	85
平成19年	14,868	13,741	13,625	100
平成20年	15,443	14,603	14,785	101
平成21年	14,726	14,105	13,957	100
平成22年	13,101	12,090	11,863	99
平成23年	16,245	15,059	15,273	101
平成24年	17,930	16,715	16,553	97
平成25年	15,249	14,612	15,039	97
平成26年	13,534	12,465	12,797	97
平成27年	14,793	13,659	14,386	97
平成28年	15,767	14,278	14,518	102
平成29年	15,521	14,876	14,514	102
平成30年	15,700	15,165	14,932	103
令和元年	16,000	15,380	15,399	94
令和 2 年	16,362	15,367	－	89

※価格には運賃、包装代、消費税相当額が含まれる

※平成15年産米までは自主流通米の入札結果

※平成16年産米ヒノヒカリは、上場なし

※平成18年産米については、8月から19年10月までの加重平均

※平成19年産米については、8月から20年10月までの加重平均

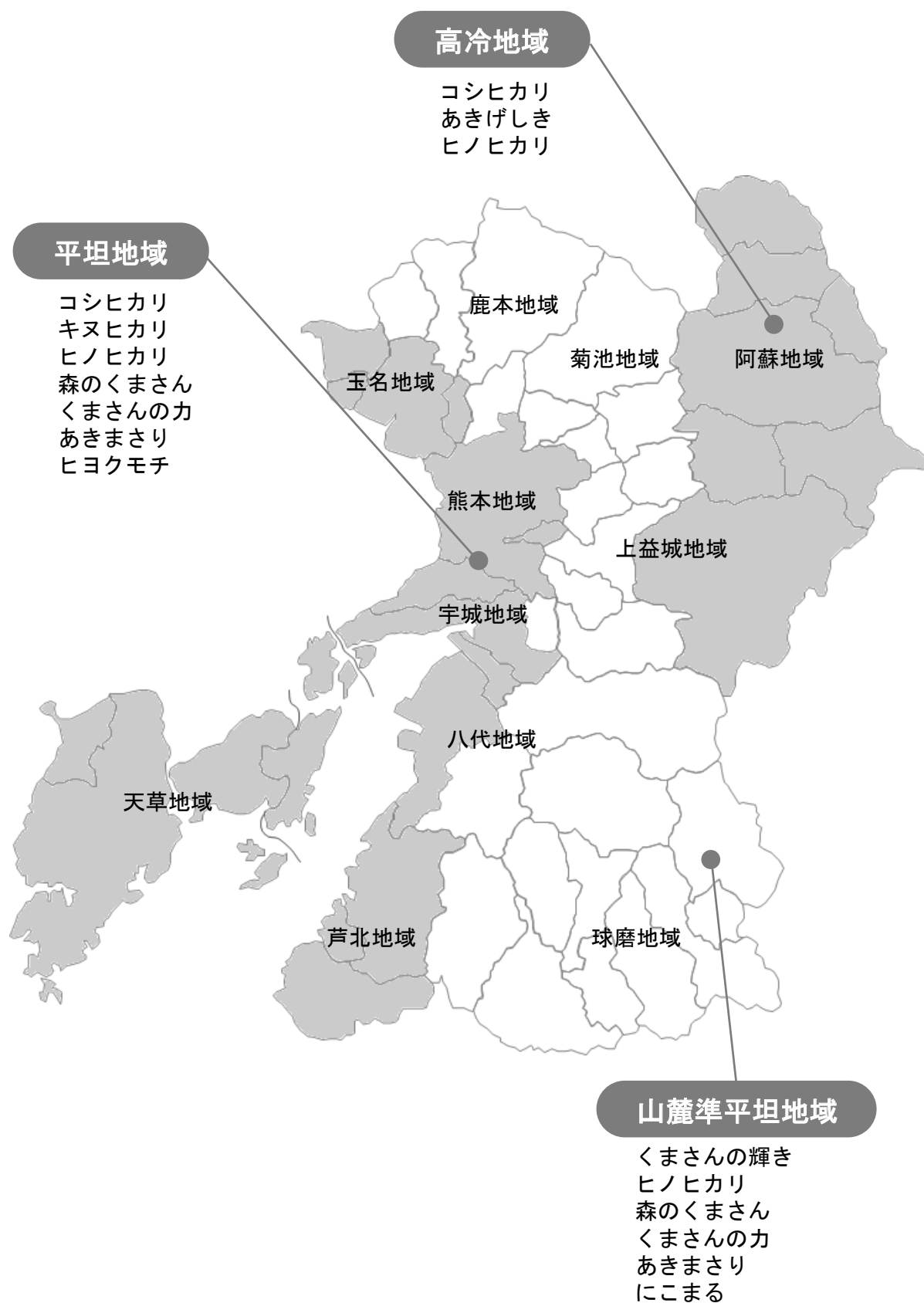
※平成20年産米については、契約開始月から21年10月までの加重平均

※平成21年産米～平成24年産米については契約開始月から翌年10月までの加重平均

※平成25～令和元年産米については出回りから翌年の10月までの平均価格

※令和 2 年産米については出回りから翌年の 4 月までの平均価格

水稻主要品種作付地域区分



令和 2 年産水稻地域別・品種別作付面積（確定値）

令和 3 年 3 月
(単位：ha)

品種名	熊 本	宇 城	玉 名	鹿 本	菊 池	阿 蘇	上益城	八 代	芦 北	球 磨	天 草	計	品種 構成 %
ヒノヒカリ	1,214	1,062	2,771	1,592	2,003	621	2,233	1,908	593	2,833	311	17,144	51.5
構成比	7%	6%	16%	9%	12%	4%	13%	11%	3%	17%	2%	100%	
森のくまさん	1,100	1,355	611	393	13	164	369	351	14	56	24	4,448	13.4
構成比	25%	30%	14%	9%	0%	4%	8%	8%	0%	1%	1%	100%	
コシヒカリ	4	60	1	0	0	2,010	159	21	5	21	1,131	3,413	10.3
構成比	0%	2%	0%	0%	0%	59%	5%	1%	0%	1%	33%	100%	
あきげしき		0		1	5	845	210		0	7		1,068	3.2
構成比		0%		0%	0%	79%	20%		0%	1%		100%	
キヌヒカリ	29	8	145			1	0	730	0		13	927	2.8
構成比	3%	1%	16%			0%	0%	79%	0%		1%	100%	
くまさんの力	652	26	10		0		2	154	10	6	18	878	2.6
構成比	74%	3%	1%		0%		0%	18%	1%	1%	2%	100%	
あきまさり	325	160	99	19	2	0	2	38	1	5		650	2.0
構成比	50%	25%	15%	3%	0%	0%	0%	6%	0%	1%		100%	
くまさんの輝き	28	1	14	48	27	33	234	5	27	18	2	436	1.3
構成比	6%	0%	3%	11%	6%	8%	54%	1%	6%	4%	0%	100%	
やまだわら	23	23	41	2	0	89	3	214	1	13		407	1.2
構成比	6%	6%	10%	1%	0%	22%	1%	52%	0%	3%		100%	
山田錦	0		24		0	5	5		1	11		46	0.1
構成比	0%		53%		1%	10%	10%		2%	25%		100%	
華錦	19		6			3	4		1			33	0.1
構成比	58%		19%			8%	11%		4%			100%	
ミズホチカラ	30	0	119	118	4	0	8	2		23	1	306	0.9
構成比	10%	0	39%	39%	1%	0%	3%	1%		7%	0%	100%	
その他うるち	48	23	77	16	39	277	53	266	7	448	49	1,304	4.1
構成比	4%	2%	6%	1%	3%	21%	4%	20%	1%	34%	4%	100%	
水稻うるち計	3,472	2,718	3,919	2,190	2,094	4,047	3,282	3,689	660	3,441	1,550	31,061	93.5
構成比	11%	9%	13%	7%	7%	13%	11%	12%	2%	11%	5%	100%	
ヒヨクモチ	727	80	335	64	19	1	15	583	11	9	2	1,845	5.5
構成比	39%	4%	18%	3%	1%	0%	1%	32%	1%	1%	0%	100%	
峰の雪もち	1	0	4		0	1		107		0	7	121	0.4
構成比	1%	0%	4%		0%	1%		88%		0%	6%	100%	
その他もち	0	2	0	6	3	17	8	169	4	20	14	243	0.7
構成比	0%	1%	0%	3%	1%	7%	3%	69%	2%	8%	6%	100%	
水稻もち計	728	81	339	70	23	19	22	859	16	29	23	2,209	6.8
構成比	33%	4%	15%	3%	1%	1%	1%	39%	1%	1%	1%	100%	
水稻計	4,200	2,799	4,258	2,260	2,117	4,066	3,304	4,547	676	3,470	1,573	33,270	100.0
構成比	13%	8%	13%	7%	7%	12%	10%	14%	2%	10%	5%	100%	

注) 四捨五入やラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

注) 水稻作付面積は農林水産統計による。(主食用米、加工用米、米粉用米、備蓄用米、種子用米の合計)

注) 作付面積は、令和 2 年産水稻の市町村別作付面積(農水省)に地域毎の品種別作付け割合を乗じて算出した。

注) 地域別品種別作付け割合は、〈参考データ〉を集計し、地域毎の品種割合を算出した。

注) 熊本県の作付面積は旧富合・城南町及び旧植木町の作付面積を含み、旧蘇陽町は上益城に含まれる。

注) 今後、検査実績等により作付面積が修正されることがある。

〈参考データ〉

- ・熊本県農業共済組合水稻引受面積(支所別品種別)
- ・新規需要米取組面積(再生協議会別品種別新規需要米取組面積(申請結果))
- ・R 2 年度指定種子生産ほ場申請面積
- ・農産物検査結果

水稲うるち玄米熊本県内銘柄別等級比率

単位（検査数量：トン、等級：％）

年産	作況指数	銘柄	検査数量	1 等級	2 等級	3 等級	規格外
2 年	89 (99)	コ シ ヒ カ リ	7,821	70	27	2	1
		ヒ ノ ヒ カ リ	28,191	24	70	5	1
		森のくまさん	8,940	6	89	4	1
		くまさんの力	2,288	57	42	1	0
		くまさんの輝き	914	73	27	1	－
元年	94 (99)	コ シ ヒ カ リ	8,046	42	50	7	1
		ヒ ノ ヒ カ リ	32,586	24	66	8	1
		森のくまさん	12,855	5	83	11	1
		くまさんの力	3,496	50	43	7	1
		くまさんの輝き	745	36	61	3	－
30	103 (98)	コ シ ヒ カ リ	8,878	77	20	3	1
		ヒ ノ ヒ カ リ	36,320	34	64	2	0
		森のくまさん	12,437	11	87	2	0
		くまさんの力	3,470	61	37	1	0
		くまさんの輝き	456	81	19	0	0
29	102 (100)	コ シ ヒ カ リ	9,531	30	60	8	2
		ヒ ノ ヒ カ リ	33,879	38	59	3	1
		森のくまさん	12,678	13	86	1	0
		くまさんの力	3,466	71	28	1	0
28	102 (103)	コ シ ヒ カ リ	9,723	77	19	3	1
		ヒ ノ ヒ カ リ	37,245	27	70	2	1
		森のくまさん	14,480	10	88	2	1
		くまさんの力	3,501	63	33	4	1
27	97 (101)	コ シ ヒ カ リ	8,859	80	18	1	1
		ヒ ノ ヒ カ リ	37,586	56	43	1	1
		森のくまさん	15,148	28	71	1	1
		くまさんの力	3,970	75	23	1	1
26	97 (101)	コ シ ヒ カ リ	10,590	81	15	2	1
		ヒ ノ ヒ カ リ	36,678	51	48	1	1
		森のくまさん	10,381	45	54	1	0
		くまさんの力	4,008	73	25	2	0
25	97 (102)	コ シ ヒ カ リ	11,577	71	24	3	2
		ヒ ノ ヒ カ リ	41,769	42	55	2	1
		森のくまさん	12,840	7	92	1	1
		くまさんの力	4,584	82	17	1	0
24	97 (102)	コ シ ヒ カ リ	10,695	81	16	2	1
		ヒ ノ ヒ カ リ	41,194	43	55	1	0
		森のくまさん	13,319	5	94	1	0
		くまさんの力	3,720	73	25	1	0
23	101 (101)	コ シ ヒ カ リ	12,297	82	16	2	1
		ヒ ノ ヒ カ リ	36,501	52	46	1	0
		森のくまさん	10,539	24	75	0	0
		くまさんの力	3,958	79	20	1	0
22	99 (98)	コ シ ヒ カ リ	12,749	79	16	3	2
		ヒ ノ ヒ カ リ	42,643	17	75	7	1
		森のくまさん	13,962	2	94	2	1
		くまさんの力	3,988	70	28	2	0
21	100 (98)	コ シ ヒ カ リ	13,981	72	20	7	1
		ヒ ノ ヒ カ リ	39,472	56	41	2	0
		森のくまさん	10,128	66	33	1	0
		くまさんの力	669	69	29	3	0

（注１）令和２年産は令和３年３月３１日現在での数値である。

（注２）作況指数の（ ）は全国平均

（注３）四捨五入の関係で等級比率が１００％にならないことがある。

令和2年産水稻の収穫量（熊本）

水稻の10a当たり収量は470kg（作況指数89）

収穫量（子実用）は15万6,500t

【調査結果の概要】

熊本県における水稻の作柄は、8月が平年に比べ多照に経過し、全もみ数はやや多くなったものの、出穂期の高温や、9月上旬の台風によるもみずれ等の発生及び日照不足に加え、トビイロウンカによる被害の拡大等の影響により登熟が不良となったことから、10a当たり収量は470kg（作況指数89）となり、この結果、収穫量（子実用）は15万6,500tとなりました。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、15万1,800tとなりました。

表1 令和2年産水陸稲の収穫

区 分	作付面積 (ha)	10a当たり 収量 (kg)	10a当たり 平年収量 (kg)	作況指数	子実用収穫量 (t)
水 陸 稲 計	33,300	470	513	89	156,500
水 稲	33,300	470	513	89	156,500
陸 稲	—	—	—	—	0

表2 水陸稲の作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移

年 産	作付面積 (ha)	10a当たり 収量 (kg)	10a当たり 平年収量 (kg)	作況指数	収穫量 (t)
令和2年	33,300	470	513	89	156,500
元年	33,300	483	513	94	160,800
平成30年	33,300	529	513	103	176,200
29年	33,300	527	513	102	175,500
28年	33,800	527	513	102	178,100
27年	35,600	500	515	97	178,000
26年	37,500	500	515	97	187,500
25年	38,400	502	515	97	192,800
24年	38,100	501	515	97	190,900
23年	37,900	519	515	101	193,600
22年	39,500	512	515	99	202,200
21年	39,700	515	515	100	204,500
20年	39,700	522	515	101	207,200
19年	41,000	513	515	100	210,300
18年	42,000	440	515	85	184,800
17年	42,700	479	515	93	204,100
16年	42,300	396	512	77	167,500
15年	40,900	491		96	200,400

【調査結果】（作柄概況）

（１）県北地帯

全もみ数は、穂数は「少ない」となったものの、1穂当たりもみ数が「多い」となったことから、「やや多い」となりました。

登熟は、出穂期の高温や9月上旬の台風によるもみずれ及び日照不足のほか、トビイロウンカによる被害の拡大等の影響から、「不良」となりました。

このことから、10a当たり収量は489kg、作況指数は「91」となりました。

（２）阿蘇地帯

全もみ数は、1穂当たりもみ数は「やや多い」となったものの、穂数が「平年並み」となったことから、「平年並み」となりました。

登熟は、8月下旬の風雨による倒伏、出穂期の高温や9月上旬の台風によるもみずれ及び日照不足のほか、トビイロウンカによる被害の拡大等の影響から、「不良」となりました。

このことから、10a当たり収量は463kg、作況指数は「89」となりました。

（３）県南地帯

全もみ数は、穂数は「やや少ない」となったものの、1穂当たりもみ数が「やや多い」となったことから、「平年並み」となりました。

登熟は、出穂期の高温や9月上旬の台風によるもみずれ及び日照不足のほか、トビイロウンカによる被害の拡大等の影響から、「不良」となりました。

このことから、10a当たり収量は453kg、作況指数は「87」となりました。

（４）天草地帯

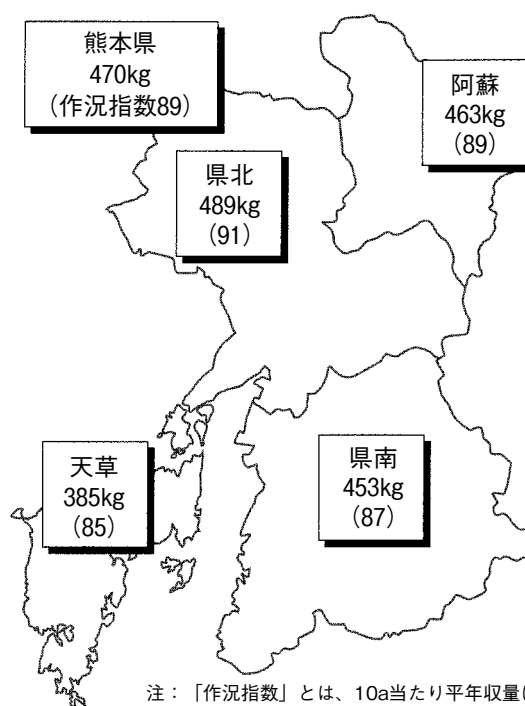
全もみ数は、穂数は「やや少ない」となったことに加え、1穂当たりもみ数も「やや少ない」となったことから、「少ない」となりました。

登熟は、品種構成の大勢を占める早期栽培において、6月下旬の出穂期以が日照不足で経過したことに加え、普通期栽培においても、9月上旬の台風によるもみずれ等のほか、トビイロウンカによる被害の拡大等の影響から、「やや不良」となりました。

このことから、10a当たり収量注1は385kg、作況指数は「85」となりました。

（５）以上の結果、熊本県の10a当たり収量は470kg、作況指数は「89」となりました。

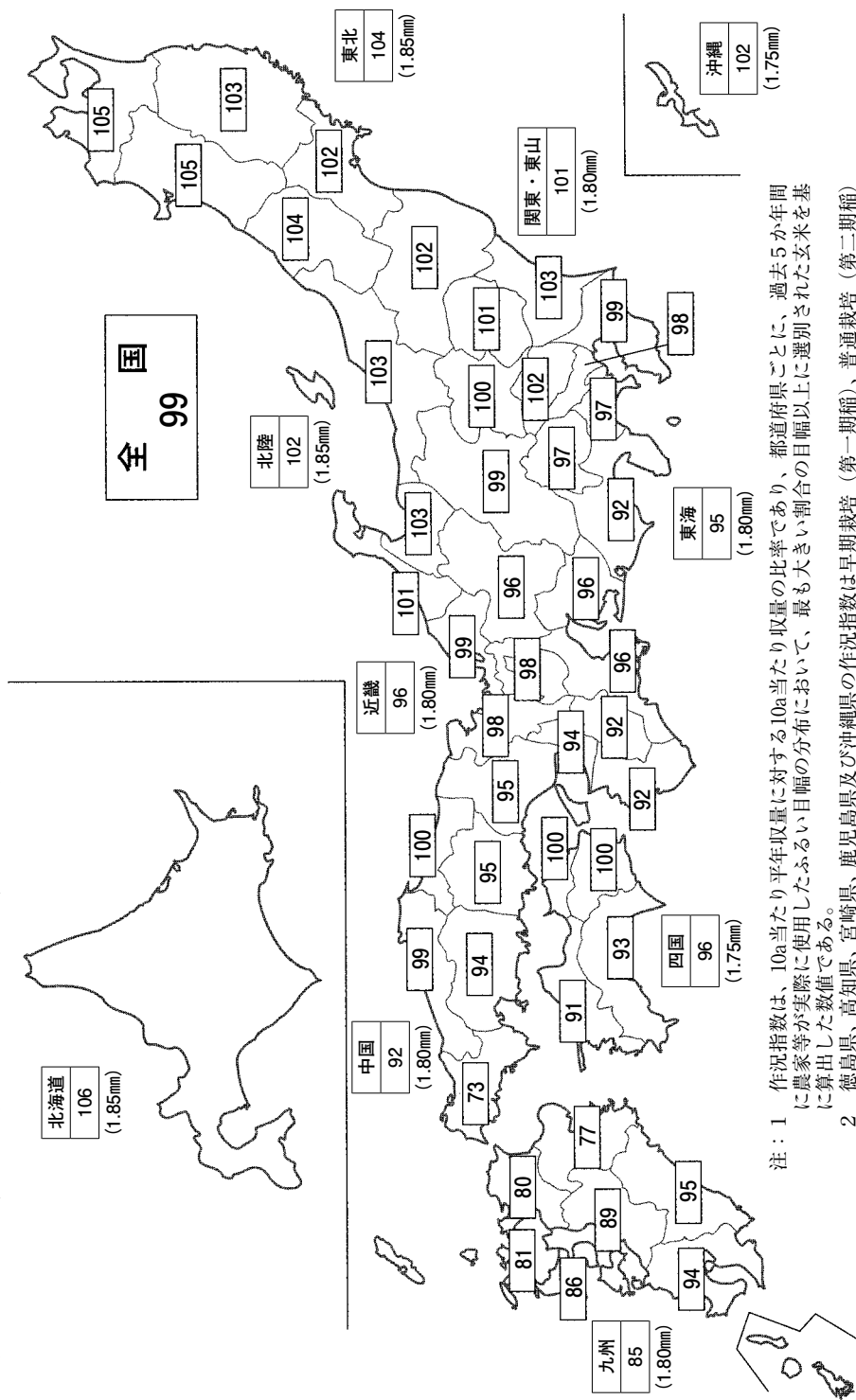
図 水稻の作柄表示地帯別10a当たり収量



令和2年産水稻の都道府県別作況指数

【調査結果の概要】

1. 水稻の作付面積（子実用）は146万2,000ha（前年産に比べ7,000ha 減少）で、このうち、主食用作付面積は136万6,000ha（前年産に比べ1万3,000ha減少）となった。
2. 水稻の全国の10a当たり収量は531kg（前年産に比べ3kg増加）が見込まれる。これは、北海道、東北及び北陸においては、全もみ数が確保され、登熟も順調に推移したことから、作柄が平年を上回った一方、東海以西においては、トビイロシカの被害、登熟期の日照不足等により登熟が不良となったこと、さらに九州地方では台風の影響もあり作柄が平年を下回ったためである。
3. 地域別の10a当たり収量は、北海道は581kg（前年産に比べ10kg増加）、東北は586kg（同値）、北陸は550kg（同10kg増加）、関東・東山は536kg（同14kg増加）、東海は480kg（同11kg減少）、近畿は490kg（同13kg減少）、中国は484kg（同19kg減少）、四国は470kg（同13kg増加）、九州は440kg（同5kg増加）、沖縄は316kg（同21kg増加）となった。
4. 以上の結果、収穫量（子実用）は776万3,000t（前年産に比べ1,000t 増加）が見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、722万5,000t（前年産に比べ3万6,000t 減少）が見込まれる。



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふり目の幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基準に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

令和2年産水稻の市町村別面積・収穫量(熊本)

単位

作付面積：ha
10a当たり収量：kg
収 穫 量：t

		作付面積	10a当たり収量	収穫量			作付面積	10a当たり収量	収穫量	
全 国		1,462,000	531	7,763,000	山鹿市		2,260	485	10,900	
福 岡		34,900	416	145,200	菊池市郡	菊 池 市	1,640	481	7,880	
佐 賀		23,900	436	104,200		合 志 市	278	480	1,330	
長 崎		11,100	422	46,800		大 津 町	76	505	384	
熊 本		33,300	470	156,500		菊 陽 町	123	504	620	
大 分		20,200	403	81,400	市 郡 計		2,117	482	10,214	
宮 崎		16,000	475	76,000	阿蘇市郡	阿 蘇 市	2,170	478	10,400	
鹿 児 島		19,300	458	88,400		南小国町	219	397	869	
沖 縄		650	322	2,090		小 国 町	272	392	1,070	
熊 本	平成12年	44,000	517	227,500		産 山 村	165	454	749	
	13年	42,700	522	222,900	高 森 町	198	472	935		
	14年	41,900	523	219,100	西 原 村	84	477	401		
	15年	40,800	491	200,300	南阿蘇村	958	488	4,680		
	16年	42,300	396	167,500	市 郡 計		4,066	470	19,104	
	17年	42,600	479	204,100	上 益 城 郡	御 船 町	570	504	2,870	
	18年	42,000	440	184,800		嘉 島 町	324	506	1,640	
	19年	41,000	513	210,300		益 城 町	783	503	3,940	
	20年	39,700	522	207,200		甲 佐 町	387	500	1,940	
	21年	39,700	515	204,500	山 都 町	1,240	444	5,500		
	22年	39,500	512	202,200	郡 計		3,304	481	15,890	
	23年	37,900	519	196,700	八代市郡	八 代 市	4,070	501	20,400	
	24年	38,100	501	190,900		氷 川 町	477	512	2,440	
	25年	37,900	519	196,700		市 郡 計		4,547	502	22,840
	本	26年	37,500	500	187,500	芦北市郡	水 俣 市	150	402	603
		27年	35,600	500	178,000		芦 北 町	464	370	1,720
		28年	33,800	527	178,100		津奈木町	62	405	251
		29年	33,300	527	175,500		市 郡 計		676	381
		30年	33,300	529	176,200	球磨市郡	人 吉 市	493	343	1,690
		令和元年	33,300	483	160,800		錦 町	464	434	2,010
		2 年	33,300	470	156,500		多良木町	652	423	2,760
	熊本市		4,200	495	20,800		湯 前 町	307	428	1,310
	宇土市		654	500	3,270		水 上 村	146	414	604
宇城市		1,750	487	8,520	相 良 村		201	360	724	
下益城	美里町	395	445	1,760	五 木 村		9	364	33	
	郡計		395	446	1,760	山 江 村	120	400	480	
玉 名 市 郡	荒尾市	362	469	1,700	球磨村	球 磨 村	83	310	257	
	玉名市	2,510	494	12,400		あさぎり町	995	413	4,110	
	玉東町	146	470	686		市 郡 計		3,470	403	13,978
	南関町	392	471	1,850		天草市郡	上天草市	200	391	782
	長洲町	308	491	1,510	天 草 市		1,220	382	4,660	
	和水町	540	464	2,510	苓 北 町		153	402	615	
	市郡計		4,258	485	20,656		市 郡 計		1,573	385

令和2年産水稻全国都道府県別順位

順位	都道府県	作付面積 子実用(ha)	都道府県	10a当たり 収量(kg)	都道府県	収穫量 子実用(t)	都道府県	10a当たり 平年収量(kg)	都道府県	作況指数
	全国	1,462,000	全国	531	全国	7,763,000	全国	535	全国	99
1	新潟	119,500	青森	628	新潟	666,800	長野	619	北海道	106
2	北海道	102,300	山形	622	北海道	594,400	山形	598	青森	105
3	秋田	87,600	長野	606	秋田	527,400	青森	597	秋田	105
4	宮城	68,300	秋田	602	山形	402,400	秋田	575	山形	104
5	茨城	67,800	北海道	581	宮城	377,000	北海道	550	沖縄	104
6	福島	65,300	福島	562	福島	367,000	福島	550	新潟	103
7	山形	64,700	新潟	558	茨城	360,000	山梨	547	富山	103
8	栃木	59,200	富山	556	栃木	318,500	新潟	544	岩手	103
9	千葉	55,400	岩手	553	千葉	297,500	千葉	544	茨城	103
10	岩手	50,400	宮城	552	青森	283,900	富山	544	福島	102
11	青森	45,200	栃木	538	岩手	278,700	宮城	540	宮城	102
12	富山	37,100	千葉	537	富山	206,300	栃木	540	埼玉	102
13	兵庫	36,500	茨城	531	長野	192,700	岩手	539	栃木	101
14	福岡	34,900	石川	530	兵庫	174,100	広島	528	石川	101
15	熊本	33,300	山梨	529	滋賀	158,300	岡山	526	鳥取	100
16	埼玉	31,900	福井	518	埼玉	158,200	茨城	524	群馬	100
17	長野	31,800	鳥取	512	熊本	156,500	石川	523	香川	100
18	滋賀	31,100	島根	511	岡山	150,500	静岡	520	徳島	100
19	岡山	29,800	滋賀	509	福岡	145,200	福井	519	長野	99
20	愛知	27,400	岡山	505	愛知	134,300	佐賀	519	千葉	99
21	三重	27,100	京都	501	石川	131,400	滋賀	518	福井	99
22	福井	25,100	広島	499	福井	130,000	鳥取	514	島根	99
23	石川	24,800	埼玉	496	三重	129,800	熊本	513	滋賀	98
24	佐賀	23,900	群馬	496	広島	112,800	奈良	513	京都	98
25	広島	22,600	香川	496	岐阜	105,800	島根	511	東京	98
26	岐阜	22,500	愛知	490	佐賀	104,200	京都	511	山梨	97
27	大分	20,200	奈良	482	鹿児島	88,400	愛知	507	神奈川	97
28	鹿児島	19,300	三重	479	島根	87,400	山口	504	愛知	96
29	山口	18,900	静岡	478	大分	81,400	兵庫	502	三重	96
30	島根	17,100	兵庫	477	群馬	76,900	三重	500	岐阜	96
31	宮崎	16,000	徳島	476	宮崎	76,000	大分	499	岡山	95
32	群馬	15,500	宮崎	475	静岡	74,100	群馬	498	兵庫	95
33	静岡	15,500	愛媛	474	山口	73,000	愛媛	498	宮崎	95
34	京都	14,300	神奈川	474	京都	71,600	和歌山	497	広島	94
35	愛媛	13,400	大阪	472	鳥取	66,000	福岡	496	大阪	94
36	鳥取	12,900	熊本	470	愛媛	63,500	宮崎	496	鹿児島	94
37	香川	11,700	岐阜	470	香川	58,000	香川	496	高知	93
38	高知	11,300	和歌山	462	徳島	52,400	大阪	495	静岡	92
39	長崎	11,100	鹿児島	458	高知	48,900	神奈川	494	奈良	92
40	徳島	11,000	佐賀	436	長崎	46,800	埼玉	492	和歌山	92
41	奈良	8,480	高知	433	奈良	40,900	岐阜	486	愛媛	91
42	和歌山	6,250	長崎	422	和歌山	28,900	鹿児島	484	熊本	89
43	山梨	4,880	福岡	416	山梨	25,800	長崎	482	長崎	86
44	大阪	4,700	大分	403	大阪	22,200	徳島	474	佐賀	81
45	神奈川	2,990	東京	400	神奈川	14,200	高知	456	福岡	80
46	沖縄	650	山口	386	沖縄	2,090	東京	414	大分	77
47	東京	124	沖縄	322	東京	496	沖縄	309	山口	73

注：作付面積は、青刈り面積を除いた子実用の作付面積である。

水稲累計統計（熊本）

（単位：ha, kg, トン）

年 次	作付面積	10a当たり収量	収 穫 量	作況指数	10a当たり平年収量	備 考
昭和 30	75,000	383	287,500	107	360	
31	75,100	350	262,900	97	360	
32	75,400	336	253,400	93	360	大雨、台風2回
33	75,200	427	320,500	118	362	
34	76,000	402	305,700	111	361	
35	76,300	403	307,900	109	370	
36	76,700	387	297,000	102	381	
37	76,700	400	307,000	102	392	
38	76,200	416	317,300	105	396	
39	76,000	415	315,500	103	402	
40	76,300	412	314,400	101	407	
41	76,600	470	360,000	115	407	
42	77,600	486	377,100	119	407	
43	79,400	457	362,900	108	422	
44	79,900	469	374,700	105	447	
45	71,700	418	299,700	91	461	9月中旬以降寡照
46	66,700	416	277,500	90	463	台風19号
47	65,600	488	320,100	105	464	
48	67,100	462	310,000	100	464	
49	70,300	478	336,000	103	464	
50	41,900	501	360,200	108	464	
51	72,500	442	320,500	95	467	台風17号
52	72,300	492	355,700	105	467	
53	67,000	500	335,000	106	470	
54	64,600	491	317,200	104	473	
55	61,500	430	264,500	91	475	台風13、16号
56	58,900	505	297,400	106	475	
57	58,300	463	269,900	97	479	台風10、13、18、19号
58	58,900	475	279,800	99	479	
59	60,100	505	303,500	105	479	
60	61,100	487	297,600	101	481	
61	60,200	520	313,000	108	483	
62	54,800	462	253,200	95	486	風水害、日照不足
63	53,600	525	281,400	108	486	
平成 元	52,800	517	273,000	106	488	
2	52,200	497	259,400	101	492	
3	51,300	416	213,400	84	494	台風19号、生育期寡照
4	53,000	492	260,800	100	494	
5	53,500	378	202,200	77	494	長雨、低温、日照不足
6	56,600	570	322,600	115	494	
7	52,400	522	273,500	106	494	
8	49,200	512	251,900	104	494	
9	48,800	495	241,600	100	495	
10	45,200	515	232,800	104	495	
11	44,900	407	182,700	81	500	台風18号
12	44,000	517	227,500	102	505	
13	42,700	522	222,900	103	505	
14	41,900	523	219,100	103	509	
15	40,800	491	200,300	96	511	
16	42,300	396	167,500	77	512	台風16、18号
17	42,600	479	204,100	93	515	台風14号
18	42,000	440	184,800	85	515	台風13号
19	41,000	513	210,300	100	515	
20	39,700	522	207,200	101	515	
21	39,700	515	204,500	100	515	
22	39,500	512	202,200	99	515	
23	37,900	519	196,700	101	515	東日本大震災
24	38,100	501	190,900	97	515	九州北部豪雨
25	38,400	502	192,800	97	515	
26	37,500	500	187,500	97	515	日照不足、ウンカ
27	35,600	500	178,000	97	515	日照不足、いもち病、台風15号
28	33,800	527	178,100	102	513	
29	33,300	527	175,500	102	513	
30	33,300	529	176,200	103	513	
令和 元	33,300	483	160,800	94	513	台風17号、ウンカ
2	33,300	470	156,500	89	513	7月豪雨、台風9・10号、ウンカ